

リーダーシップ111 2025年11月定例会のお知らせ

日 時 : 2025年11月30日(日) 12:30-14:30

場 所 : 資生堂パーラーワードホール

ディスカッション・リーダー: 日本の性差医療と女性外来のパイオニア

医学博士 天野恵子(あまの けいこ)さん

テーマ: 「性差医学・医療」

会 費: 7,000円(昼食付)

天野恵子先生が「性差医療」というテーマに向き合うようになったきっかけは、40代で出会ったある症例だったといいます。しかし当時、男性優位の医療界ではその視点に関心を示す人はほとんどおらず、孤独な挑戦が始まりました。

転機となったのは1999年、日本心臓病学会で性差医療の概念を紹介したこと。この発表が引き金となって、2001年には鹿児島大学に日本初の「女性外来」が開設され、その後、全国に多くの女性外来が誕生するなど、医療界に大きな変革をもたらしました。当時会員の元千葉県知事の堂本暁子氏と知り合ったのもこの頃だそうです。

天野さんは性差による疾患の違いや治療反応に着目する「性差医学」に真正面から取り組み、自らの体験と研究を通じて「性差医療」という新たな道を切り拓いてこられました。そして今もなお臨床の第一線に立って、性差医療のさらなる発展に尽力されています。

今回は、年齢を重ねることで現れる体調の変化や、閉経後のホルモンバランス、医療との上手なつきあい方に加えて、和温療法、コレステロールや中性脂肪を下げる生活習慣など、すぐに実践できる具体的な対策についてもお話しいただく予定です。

性差医療の視点から、これからの人生を健やかに、自分らしく生きるためのヒントを、ぜひ一緒に学びませんか。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

◆天野恵子さん(あまのけいこ) 略歴

東京大学医学部卒(医学博士・循環器内科専攻)。東京大学講師、東京水産大学(現:東京海洋大学)教授を経て、2002年千葉県立東金病院副院長兼千葉県衛生研究所所長。09年より埼玉県新座市の静風荘病院にて女性外来を開始。現在は静風荘病院特別顧問を務める。

「NPO法人性差医療ネットワーク」「性差医療・医学研究会(現「日本性差医学・医療学会」)の創設をリードするなど、男女差を考慮した診断を行う性差医療と女性外来の普及に尽力し、2025年3月には長年の医療への貢献や患者に寄り添う姿勢が高く評価され、第59回吉川英治文化賞を受賞。

2019年8月27日放送のNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」では「神様じゃないだから、あきらめない～内科医・天野恵子」が放映される。(現在もNHK オンデマンドで視聴可能)

著書に『81歳、現役女医の転ばぬ先の知恵』、『プレ更年期から高齢期まで 女の一生は女性ホルモンに支配されている』『女性の「コレステロール」「中性脂肪」はこうして落とす』、『更年期の苦痛』のやわらげ方』など多数。